

電波時計（目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 E227-CXXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- アラーム音を電子音または電子音＋ベル音から選べます
- 省エネモードで電池長持ち

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。


(Y0902)


安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区別して説明しています。


 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が＋50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは、強制受信ボタンを押してください。

蓄光性夜光塗料「ナチュライト」について

- ナチュライトは紫外線を含んだ光(例 蛍光灯)により励起され発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- 発光時間は、60 ワット以上の蛍光灯の光を 1.5m 以内で 30 分以上直接当てた場合、8 時間程度お手元で発光が確認できます。明るさや受光時間が不足すると短い時間で暗くなります。
- 蓄光の特徴として時間の経過とともに明るさが低下します。
- 目視による発光の確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより影響を受けます。
- 明るいところから暗いところに入った場合、目が暗さに慣れるまで発光が確認しにくいことがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10～＋50℃	明暗センサー	：暗くなると秒針を12時位置で停止
時間精度	表示精度	照明	：ライトボタン操作により文字板面を照明
	標準電波受信直後	確認音	：操作を短い電子音で知らせる
	秒針 ±1秒		アラームスイッチを ON にしたとき
	時分針 目盛りに対して ±3度		強制受信ボタンを押して受信を開始したとき
	標準電波を受信しない場合	電池交換時期	：明るいところで秒針が12時位置に停止
	平均月差 ±20 秒（常温中のクォーツ精度）	お知らせ機能	
アラーム精度	表示時刻に対して0秒	標準電波機能	
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS 規格 LR6 2個	受信局自動選択	福島局 40kHz/九州局 60kHz
電池寿命	約1年 受信に成功し、1日7時間秒針停止、アラーム：30秒/日 照明：5秒/日 使用	電波受信機能	ON/OFF 切替
	省エネモードで使用し続けたときは約2年	自動受信	最少 1日1回 最多 1日6回
省エネモード	秒針を50秒位置に停止し、電池の消費を抑える	受信状態により、受信回数は変化します。	
アラーム機能	アラーム音：選択式	受信開始時刻	
	①電子音（鳴り方が変化）②電子音＋ベル	2時16分20秒 3時16分20秒	
	スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）	4時16分20秒 12時16分20秒	
	オートストップ機能（自動鳴り止め）	13時16分20秒 14時16分20秒	
	アラーム音モニター機能	スヌーズボタンを2秒以上押しつづけて受信確認音が鳴ると受信成功。	

付属品	
単3形アルカリ乾電池	2個
取扱説明書	本書 保証書 1枚

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有についてこの時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただきますことがあります。
- 修理可能期間について無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「BRK400」をお伝えください。

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（＋）、マイナス（－）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について


- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。ⓧ アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）


取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  **注意**
- 電池に傷をつけたり、分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。
 - 時計を使用しないときは電池を取り外す。
 - 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

 **警告** 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。


 **注意** もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- 買い置きを電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

 **注意** 火に入れると破裂の原因となり危険です。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

強制受信ボタンを連続して4回押してください。

強制受信ボタンを押すタイミングは、**確認音が鳴り始めたらすぐに押してください。**

受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。

▶時刻は手動で合わせてください。

アドバイス

受信機能をOFFにするときは、確認音が鳴り始めたらすぐに強制受信ボタンを押す操作を確認音が鳴らなくなるまで繰り返してください。

○この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。

○工場出荷時の設定は、受信機能はONになっています。

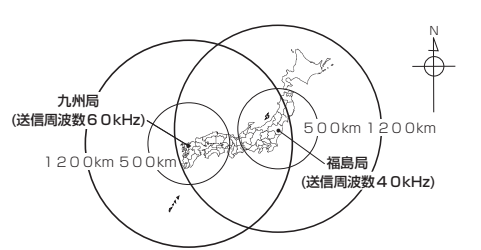
○操作のタイミングによっては、ONまたはOFFに切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

○受信機能がOFFのときに、電池を取り出しても設定を長い時間保持します。受信機能をONにするには、上記の説明に従って操作してください。

○受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと早送りでおおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

電波の受信範囲について

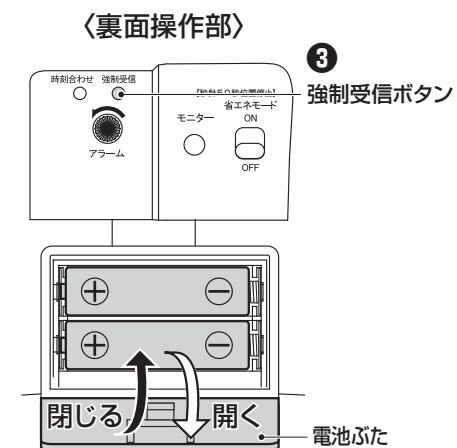
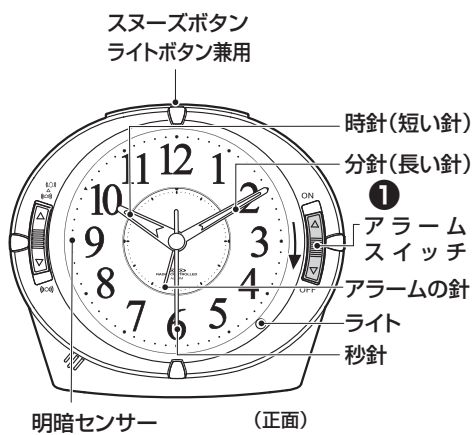
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

1 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



〈電池の入れ方〉②

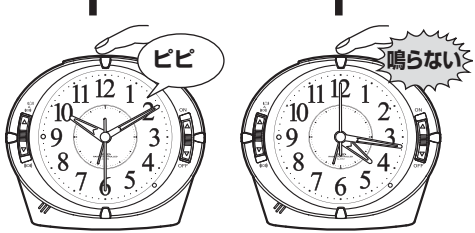
電池ふたを開け、電池を入れて電池ふたを閉じる。電池の⊕を逆向きに入れると、電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。

【受信の流れと結果の確認】



4、8、12 時のいずれかの時刻に移動します。移動後、針が停止して受信を開始します。

最長16分後に受信終了
スヌーズボタンを2秒間押し
続けて受信結果を確認する。



受信成功例
受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

受信失敗例
受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で標準電波を受信させるか、手動で時刻を合わせてください。通常のクォーツ時計としてご使用になれます。

手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。標準電波を受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。

●受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。→ 裏面の ④ 電波受信機能のON/OFF操作 参照

⑤ ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。

時刻合わせボタンを押すと、時・分針の修正モードになります。

○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

時刻合わせボタンを離してから、秒針が動き出すまでに最長61秒程度停止することがあります。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

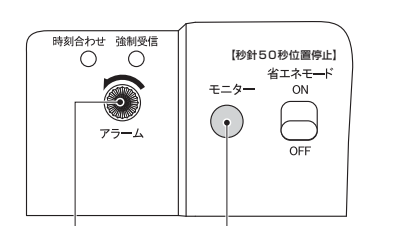
標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

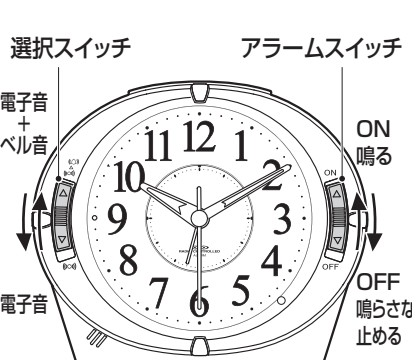
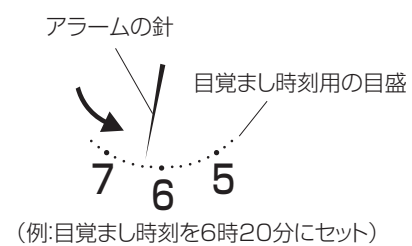
海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

2 アラーム機能の使い方



必ず矢印方向に回す



スヌーズボタンについて

スヌーズボタンには3つの機能があります。

①スヌーズ機能 (アラーム音を一時的に止める)

アラームが鳴っているときに押すと、約5分間アラーム音が停止します。この機能は、アラーム設定時刻から20~50分間繰り返し使えます。アラーム音を完全に止めるにはアラームスイッチを「OFF」にします。

②文字板面照明機能

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。押し続けている間と離してから約5秒間文字板面を照明します。

③受信に成功している場合は受信確認音を鳴らす

25時間以内に電波の受信に成功しているときには、スヌーズボタンを2秒間押し続けると受信確認音が鳴ります。受信確認音はアラームスイッチがONのときや暗いところでは鳴りません。

アラームオートストップ機能

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。アラームスイッチは「ON」のままです。

アラームご使用上の注意

- アラームスイッチをONにしたままでは、毎日午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
- アラームを長期間使用しませんが、ベル音の鳴りが悪くなる場合がありますので、2~3カ月に1回、約1分ぐらい鳴らすことをおすすめします。
- アラームの音量は調節できません。

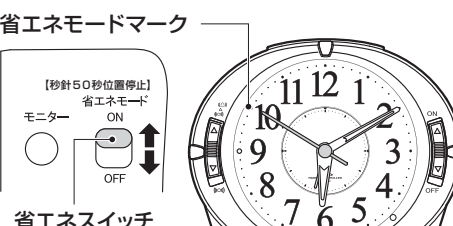
トラブル? アラームが鳴らない

- アラームつまみを回して、現在時刻に合わせたアラームが鳴らない。
- 時刻合わせボタンを操作してアラーム時刻に合わせたアラームが鳴らない。

このようなときは、アラームスイッチを一度「OFF」にしてから「ON」にするとアラームが鳴り出します。

アラームつまみや時刻合わせボタンを操作してアラーム音を試聴するときには、アラームスイッチを「OFF」にしてから操作し、その後にアラームスイッチを「ON」にするとアラームが鳴り出します。

3 省エネモード(節電)



省エネモードのときは、秒針が50秒の位置に停止します。

省エネスイッチをONにすると、電池の消費を少なくし、電池の寿命を延ばすことができます。

省エネモードにすると、秒針は50秒の位置に停止します。

省エネスイッチをONからOFFにすると、秒針は12時位置まで動いてから一時停止します。停止している時間は最長で61秒程度です。

※強制受信のときも50秒の位置に停止します。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止します。昼間や夜間の照明された環境でも、明るさが不足するとセンサーが反応します。※省エネモードのときは、秒針は50秒位置に停止したままです。

電池の交換時期お知らせ機能

十分に明るいところで、秒針が12時位置に停止しているときは、電池の交換時期です。指定の電池に速やかに交換してください。そのまま放置した場合、電池からの液もれが発生し、故障や家具などを汚す原因となります。

○交換時期のお知らせを開始してから1ヵ月程度は動き続けます。

○電池の交換時期になるとライトボタンを押しても照明が点灯しません。

(注) 強制受信ボタンを押して、受信しているときを除きます。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 時計が止まっているときは、指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。省エネモードで使用し続けているときは2年に1回。
- 電池の⊕を逆に入れない。